

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市東長町児童館
2 指定管理者	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和6年度 41,200人(前年度比 111.7%) ・令和5年度 36,890人 ・令和4年度 29,098人
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 68,507千円 (64,175千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
	()は前年度決算額
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者説明会を実施。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	31/31
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育てを家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。 なお、職員における虐待や不適切な対応を防止する取り組みについてのマニュアル「職員における虐待等の不適切な行為に対する対応について」を作成し、職員会議やOJTを開催して職員間で周知共有し、子どもの人権に十分に配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して支援が行われている。	19/18

三 評価総括

《指定管理者（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）による自己評価》
【児童健全育成事業】 昨年度から継続して取り組んでいたニュースポーツボッチャの仙台市長杯に児童館として参加をしました。月に1回の練習の成果を発揮する場として、緊張しながら一生懸命取り組みました。優勝することは叶いませんでしたが、普段味わえない雰囲気や勝つ楽しさ、負ける悔しさを経験する貴重な場となりました。 将棋大会を年間4回開催しました。普段賑やかなこどもたちが静かに将棋に取り組み、勝ち負けに一喜一憂する姿が見られました。参加した6年生からは中学生になっても参加したい！という意欲的な意見も出ており、中高生の利用促進にもつながるイベントとなりました。 【子育て家庭支援事業】 東長町児童館子育て支援クラブさしやぼっばから小学生とのつながりが欲しい！との発信をきっかけに、児童館と共催でプランターの花植えを実施しました。小学生が乳幼児の作業を手伝う等の姿が見られ、小学生と乳幼児両方の成長を感じることのできるイベントとなりました。 登録制幼児クラブマーチっこクラブでは年間20名の登録がありました。月1回の活動では寒天遊び等独自の要素を取り入れ、他では得ることのできない経験をすることができました。 【地域交流推進事業】 地域の自治会からの依頼でコミュニティ祭りにて児童館からJUMP-JAMを提供しました。当日は天気にも恵まれ、約30名程のこどもたちと一緒に元気に体を動かし、地域のこどもたちへ提供するきっかけとなりました。 【放課後児童健全育成事業】 他団体が運営している八木松児童館のイベント「どんぐりマーケット」に児童クラブが参加しました。夏休み中にイベント参加するための商品を作り、当日はフリーマーケット形式で出店を行いました。こどもたちは目を輝かせながら店番やお買い物を楽しむことができました。今後も近隣にある施設と定期的な連携を図っていきます。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
児童健全育成事業においては、遊戯室でのバスケットボールやドッチボールを通して、自由来館の小学生と児童クラブの小学生との日常的な交流が見られている。また中学生の意見で5月から月に2回、18時30分まで開館延長をして利用促進を図り、地域におけるこども達の居場所作りに取り組んでいる。その他ボッチャやペタンク等のニュースポーツ体験は、大きな大会への参加や近隣児童館との交流に繋がる取り組みとなっており活動の幅を広げている。 子育て家庭支援事業においては、登録制幼児クラブで水遊びや季節の行事など多様なプログラムを提供し、参加者から好評を得ている。また、なのはな園と連携して開催した「ペアレントトレーニング」や「親子工作」の他、外部講師による「ママのためのヨガ講座」や乳幼児向けのプール開放を行うなど、参加者同士の交流を広げる拠点としての役割を果たすとともに、多様な取り組みで地域の子育て家庭を支援している。 地域交流推進事業においては、短歌やフラワーアレンジメント、読み聞かせ等、地域の人材を活用して様々な体験の場を提供している。また令和6年度は「おやじの会」と共催の「もちつき大会」を、小学校や児童クラブ保護者の協力を得てコロナ禍前に規模を戻して開催した。その他、地域のおまつりにおけるJUMP-JAMの提供や、町内の敬老祝賀会や御町ふれあい市でのディア波罗の発表などを通して地域との交流を広げ、こどもの意欲や自主性を育む取り組みを行っている。 放課後児童健全育成事業においては、主に夏野菜の栽培を目的とした小さな農園活動や外部講師による食の体験イベント、制作活動の他、地域の方の協力による3年生限定の夏休み思い出作りなど、様々な季節感のある活動を取り入れて、本館・サテライトともに児童クラブでの生活の充実が図られている。 また職場内研修について年間計画を作成し、関係法令や児童館ガイドライン、児童クラブ運営指針に基づいた施設の設置目的の理解や安全管理・危機管理、児童対応等、多様な内容で実施し、児童理解や児童館職員の職責について確認共有しながら職員の資質向上に努めている。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課